

プリズム

# PRISM

回覧

～男女共同参画社会をめざして～



## PRISMとは

プリズムを通る光は、多方面に分かれて進みます。そこで、多様な価値観をそれぞれが認め合えることをめざして、情報誌の名前にしました。

## Contents

- 活躍する女性起業家 ..... P1
- 市原市消防局における女性消防吏員活躍の今 ..... P2
- 男性保育士へインタビュー ..... P3
- “おとう飯(はん)”作ってみました! ..... P4
- 「みんなの職業」～小学校から始まる、キャリア教育～ ..... P5
- 女性とスポーツ  
2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた女性活躍のための取組 ..... P5
- ご存知ですか?スマートフォンアプリ「ちば My Style Diary」 ..... P6
- 男女共同参画図書コーナー ..... P6
- 市民編集員コーナー ..... P7



### 佐藤 香奈恵さん

#### CAFE KRUZE・カフェクルゼ

昨年開催された「ちば起業家交流会 in 市原」で、プレゼンテーション部門の最多得票を獲得された佐藤香奈恵さん。佐藤さんに交流会や起業についてお聞きします。

#### —「ちば起業家交流会 in 市原」での最多得票おめでとうございます

ありがとうございます。私のしてきたことをお話しできればと準備を始めましたが、自分のビジネスプランをもう一度見直す機会となり、それを認めていただいたことはすごく嬉しく思います。

#### —プレゼンテーションの準備や当日はどんな気持ちで臨まれましたか

私が移動販売を始めたのが3年前で、この3年間の経歴を5分間でまとめるのが難しく、自分の中ではその思いや努力、感謝だったり、たくさんありましたが、どこを優先的にお話しさせていただこうかというところが難しかったですね。

当日はとにかく緊張しました。本当に伝わっているのか、皆さん聞いてくださっているのだろうかと不安でしたが、自分の話したいことは全てお話しできたかなという気持ちで終わることができました。

#### —それでは、起業について伺います。きっかけをお聞かせください

ハンバーガーチェーンで店長をしていたことがあり、100円のハンバーガーから数億円の売上を立てるというシステムに魅了されました。また、人の心を動かすようなマネジメントが多く、自分の性格にも合っていて、スキルを活かして何か飲食業ができないか、リスクを最小限に起業するというところから、軽自動車で移動販売を始めました。

#### —お店を運営してやりがいを感じる時はどんな時ですか

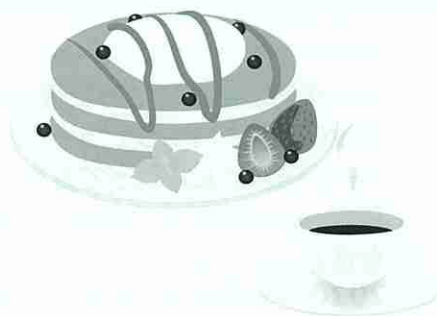
毎日やりがいを感じています。スタッフと意思疎通がとれている時、お客様からおいしいと言っていた時、今日お待たせしてしまったお客様が次に来ていただいた時は本当にやりがいを感じます。

#### —お店のご紹介をお願いします

市内青葉台で「CAFE KRUZE」を店舗として構えていて、その他では移動販売「SEASIDE CAFE KRUZE」で県内のイベント会場をまわっています。パンケーキを中心にしたメニューですが、移動販売では、クレープのようなパンケーキ『ラパン』を中心に販売しています。お店では、ランチメニューもご用意しながらのパンケーキも提供しています。

#### —今後の目標をお願いします

ふわふわなパンケーキを提供していますが、それを食べて、ほっとした幸せな瞬間をたくさんの人に味わっていただきたいという思いがあり、たくさんの人に知っていただけることが目標です。



# 市原市消防局における 女性消防吏員活躍の今

全国の消防本部における女性消防吏員は、昭和44年に初めて採用されました。以降少しずつ増加し、市原市では平成30年2月時点では、375人中7人が女性消防吏員として、警防隊、救急隊のほか、予防業務というさまざまな分野で活躍しています。今回は、採用18年目の石原早苗さんと1年目の清水雪会さんにお話をお聞きしました！

## 憧れの女性消防吏員を 目指して

### なぜ消防吏員を目指したのか

石原：私が小学生の社会科見学の際、女性吏員の人が説明してくださり、とても素敵だったので、その人に憧れて消防に入りました。

清水：私は以前の職場で救急隊の活躍に触れ、自分も救急隊として働きたいと思い、志しました。

### 実際消防吏員になってどうか

清水：体力的には大変なところもありますが、救急隊だけでなく、警防隊や予防係など様々な仕事を経験したいと思いました。大型車の運転免許も取ったので、消防車を運転したいです！

石原：カッコいいですね！消防にとって消防車はとても大事ですし、今まで消防車の機関員を担った女性吏員はいません。ぜひ運転してもらいたいです。

※機関員 消防車両を運転・運用する職員



市津消防署  
清水 雪会さん



市津消防署  
石原 早苗さん

## 時代の変革期

### 市原市消防局での女性吏員

石原：今では女性用トイレや仮眠室などの施設も充実し、24時間勤務の女性吏員が増えたことで、男性吏員や市民からも理解が得られていると感じることが増えています。

清水：私は訓練などでの問題や悩みは男性吏員の人に直接聞いています。男性だから女性だからといったことでの聞きづらさはありません。

石原：男性のイメージが強い職場に、女性がいることが当たり前になってきたことが、私が一番強く感じていることです。消防吏員になったときからこれまで、私は時代の変革期にいたんだなと感じています。

## 母として

### 市原市消防局での産休・育休制度

石原：制度があっても産休を最長3年間取った前例がなく、復帰への不安もありましたが、先輩に私と同じ悩みを抱えさせたくなかったので、1年2カ月休みま

## 後輩へメッセージ

清水：消防士になりたいけど、男性ばかりで不安な気持ちがあって悩んでいるならば、考えずに目指してほしいですね。意外と大丈夫です！入ってみれば何とかなるので、あまり悩まないでほしいです。

石原：消防という仕事は専門職であって、男女を強く意識しがちな職場でも実際入ってみれば、割とジェンダーレスな職場だと思っているので、希望を持って入ってきてほしい。女性吏員だけの集まりもあって、皆仲良くしていますので、ぜひ一緒に働きましょう！



## 男性保育士へインタビュー

昔は女性の職業としてイメージの強かった「保母」ですが、男性保育士の増加や男女雇用機会均等法の改正に伴い「保育士」という名称に改称されました。現在も保育士の大半を占めるのは女性ではありますが、男性保育士も活躍されています。そこで今回は市原市で働く現役の男性保育士4人へのインタビューをさせていただきました。

1. 保育士を目指したきっかけ・理由
2. 保育士の仕事をしていて大変だったこと
3. 保育士の仕事のやりがい
4. 男性保育士を目指している後輩たちへメッセージ



### 袖ヶ浦保育所 陸川先生

1. 子どもたちに限らずおじいちゃんやおばあちゃんやたくさんの人と話すことが好きで、じっくり関係性を築ける仕事でしたからです。
2. 大変と感じることは少なからずありますが、どんなことも経過を踏まえて結果につながっていくので強く大変と感じることは少なく、やりがいの方が大きいです。
3. 良かったこと楽しいことは毎日あります。子どもたちとのコミュニケーションが日々楽しみです。子どもたちの成長が感じられる瞬間や、信頼関係が少しずつ築かれていってコミュニケーションが深まっていくことにやりがいを感じます。
4. 保育士を目指す際に、大切なことは勉強だけでなく、友だちを増やしてたくさん遊ぶことも大切な時間だと思います。遊びや友だち関係から多くの学びがあると思います。「人は財産」です。多くの財産を得てくださいね！



### 若葉保育所 出雲先生

1. 理由は二つあります。一つ目は、私が4歳のころ、母が闘病生活を送らざるを得なくなり母の代わりに、生まれたばかりの妹の世話をしたことが始まりです。二つ目は、高校3年生の時に託児所のボランティアに行き、そこでの思い出の素晴らしさと、模造紙で作られたエプロンに「せんせい」と記されたことです。
2. 大変だったこと全て、経験という名の、明日の糧としております。
3. 子どもに「大きくなったら何になりたい?」と尋ねたら「せんせいになりたい」と言われたことです。
4. まずはしっかりと夢を描いてください。目指す先は、鮮明なほどいいでしょう。とはいえ実際の夢とは、眠りの中で見る作品でしかありません。夢を求め、夢を追ったら、それはもう夢ではありません。しかし、夢を捨てることもおすすめできません。目指すべき保育士像は、夢によって描かれるのですから。



### 辰巳保育所 南先生

1. 私は親戚が多く、集まる機会も年に何度もありました。そこでは自然と子どもたちをつれて遊ぶことが多かったです。子どもと遊ぶことが好きだった私に、母がこういう仕事も良いのではとすすめてくれたのがきっかけです。
2. 日々の子どもの安全を守ることです。朝お預かりした子どもたちが元気に帰ることが一番なので、毎日怪我のないように配慮したり、体調変化に気をつけています。命を預かる仕事なのでその部分は大変だと思います。
3. 子ども一人ひとりと出会えたことです。本当にまっすぐで、可愛くて、おもしろくて、毎日が楽しいので、子どもたちとの出会いに感謝しています。
4. さまざまな出会いの中で子どもと共に成長できる仕事だと思います。乳幼児期の大人の関わりがとても大切だという時期に関わることが出来るという責任感を持ちながら、楽しんで出来る仕事だと思います。子どもたちのため、社会のためにも、今後保育士を目指してくれる人が増えていくと嬉しいです。一緒に頑張っていきましょう。



### 今津保育所 小島先生

1. 子どもは昔から好きで、仕事として意識しはじめたのは、地元情報誌に市原市男性保育士第1号である陸川先生の記事が出ていたことがきっかけです。それまで、男性保育士という存在は知っていましたが、まさか地元市原市にいるとは思っていませんでした。そして、同じ小学校出身ということを知り、そこから保育士への思いが強くなったのを覚えています。
2. 大切なお子様をお預かりしているので、責任の重さは日々感じます。
3. ありきたりかもしれませんが、子どもや保護者から感謝を伝えられると素直に嬉しく思います。特に修了式は、子どもたちと一緒に、私も泣いてしまいます。年長児クラスの子が覚えたての字で手紙を書いてくれたり、入所してきた当初はまだしゃべれなかった小さいクラスの子が「こじませんせー」と、呼んでくれたりする姿がとても微笑ましいです。
4. まだまだ男性保育士は少ないので不安も大きいと思います。でも、子どもたちはすんなりと受け入れてくれて、不安をすぐに吹き飛ばしてくれました！男性、女性というのは大きな問題ではなくて、子どもを思う気持ちが大切。頑張ってください！



# はん “おとう飯”作ってみました!



内閣府男女共同参画局では現在、子育て世代の男性の家事・育児などを推進しています。その中でも特に料理への参画促進を目的とした「“おとう飯(はん)”始めよう」キャンペーンを実施しています。

(URL <http://www.gender.go.jp/public/otouhan/index.html>)

普段料理はほぼ全くしない研究員Nがおとう飯を作ってみました。

## 鮭のちゃんちゃん焼き

- 鮭の切り身(生鮭): 2枚
- キャベツ: 2、3枚(野菜を切るのは料理初心者にはハードルが高いため、カット野菜を購入しました。)
- しめじ: 1/2株(そのまま入れられるものが売っていたので、そちらを購入しました。)

### 材料

(味噌だれ) ☆あらかじめ混ぜておきます

- みそ: 大さじ2
- マヨネーズ: 大さじ1
- みりん: 大さじ1
- 酒: 大さじ1
- 砂糖: 大さじ1



## 作り方

- 1 耐熱容器にキャベツを敷き、生鮭の切り身を並べて置く。
- 2 混ぜておいた味噌だれを、鮭の上にかける。
- 3 さらにその上にしめじを小分けにして乗せる。
- 4 ラップを素材の上に直接かけて(端っこは空けて)、レンジ(600ワット)で7分加熱して完成!



### おとう飯を作ってみて

普段台所に立つことがない自分でも、準備から食べ始めるまで30分程度でできました。料理をしない人にとっては、野菜を洗ったり包丁を使ったりするとハードルが高いため、カット野菜は非常に便利だと感じました。

料理が苦手な人にとって、「とにかく慣れるまで作る」ことが大切だと感じます。あまり難しいことをしても続かなくなるので、まずは気軽に始められる、「おとう飯(はん)」始めてみてはいかがでしょうか?

## 「みんなの職業」～小学校から始まる、キャリア教育～

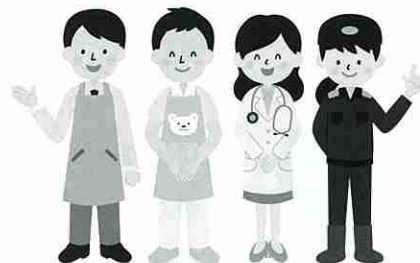
市原の子どもたちは「男性の職業」「女性の職業」ではなく、「みんなの職業」として実習先を選んでいきます。個人の適正や意志を尊重した進路選択がなされるよう、キャリア発達を支援しています。子供たちが将来の夢や希望を持ち、自立して生きていくために必要な力を育むキャリア教育を推進しています。



### キャリア教育とは・・・

一言で言えば、自分らしい生き方を実現するための力を育むことです。

職場体験・インターンシップ・社会人講話などの体験的な学習を効果的に活用し、地域・社会や産業界と連携しながら、各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動など学校の教育活動全体を通じて、社会的・職業的自立に必要な基盤となる能力・態度を育むことを目指します。発達段階に応じたキャリア教育を進めていく中で、小学校6年生では職場見学(一部体験も含む)、中学校2年生では職場体験活動を行っています。実習先は、飲食店やコンビニエンスストア、幼稚園、消防署、病院、美容院など多種多様です。



指導課 Mさん

## 女性とスポーツ

### 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた女性活躍のための取組(「共同参画」(2017年10月号)【内閣府】より)

男女共同参画を推進するための広報誌である「共同参画」では、2020年開催予定の東京オリンピック・パラリンピックを控え、これらに向けた女性活躍のための取組をされている秋月弘子氏のコメントが掲載されています。

亜細亜大学国際関係学部教授 秋月 弘子氏

#### 【「人権レガシー」の構築を目指して】

2020年第32回東京大会の3つの基本コンセプトの1つである「多様性と調和」では、「人種、肌の色、性別、性的指向、言語、宗教、政治、障がいの有無など、あらゆる面での違いを肯定し、自然に受け入れ、互いに認め合うことで社会は進歩する」と謳われており、また、多様性を尊重する共生社会の実現という「人権レガシー」を構築することが重要である。

#### ○研究員コメント○

2020年東京オリンピックのゴルフの競技会場に選ばれた名門クラブに女性が正会員になれない規則があったことで女性差別ではないかと問題になりました。こういったことが議論され、多くの人の関心になったことは「人権レガシー」の構築の一步と言えるのではないのでしょうか。

契約検査課 Oさん

## ご存知ですか？スマートフォンアプリ「ちばMy Style Diary」

千葉県では、結婚から妊娠・出産、子育てまでの切れ目のない支援として、各ライフステージに対応した無料のスマートフォンアプリ「ちばMy Style Diary」を配信しています。

市町村が実施する事業の情報を配信するとともに、専門家による医療相談や、子どもの成長記録機能のほか、様々な支援メニューを取り揃えています。育児コラムや子育てQ&Aなど、男性も使えるメニューも用意していますので、是非御活用ください。

**主な機能：** 県や市町村からの支援情報配信・自治体の支援サービス一覧  
24時間のWEBでの健康相談・出会った人リスト・子育てQ&A  
妊活支援・プレママ支援機能・子どもの成長記録・チーパス連携  
婚活・妊活・子育てコラム・イクメン応援機能  
妊娠・出産・育児シミュレーション・写真付きメモ機能 など

**ダウンロード方法：** <https://goo.gl/KiR1lh>から、アプリダウンロードページに接続します。  
iPhoneの方はApp Storeから、Androidの方はGoogle Playから無料でダウンロードできます。



問合せ先：千葉県庁健康福祉部子育て支援課 ☎043-223-2656

総務課 Nさん

## 男女共同参画図書コーナー

### 『弟の夫』田亀源五郎/双葉社

第19回文化庁メディア文化芸術祭のマンガ部門で優秀賞を受賞し、2018年3月からNHK BSでドラマが放送しているマンガ。本書はゲイである作者が、同性婚というテーマを通して日本人にありがちなゲイに対する偏見や差別を描く作品です。一般誌で連載されており、日本人の大多数である異性愛者に対してLGBTが直面する問題や同性婚の権利について問いかけています。

LGBT: レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダーの4つの頭文字を並べた総称

### 『ノルウェーを変えた髭のノラ — 男女平等社会はこうしてできた』 三井マリ子/明石書店

女性の顔にひげが描かれた表紙。これはノルウェー看護協会のポスターで、一筆で男性との賃金格差が減らせるというメッセージが込められています。育児に関する制度の充実や議員の40パーセントを女性とするクォータ制が導入されるなど、世界でも高水準の男女平等社会であるノルウェーですが、これを実現するまでには多くの困難がありました。ノルウェー人が歩んだ努力と苦悩の道のりを、日本の女性政策研究家がインタビューをもとに書いた作品です。

広報広聴課 Sさん

## コラム「あたし おかあさんだから」

P.N. お母さん経験者

「あたし おかあさんだから」という曲をご存じだろうか。最近、歌詞をめぐるインターネット上で炎上しているとのこと。歌詞を要約すると

「おかあさんになる前は ヒールはいてネイルして 立派に働けると強がってた 考えるのは自分のことばかり 今は爪切って 走れる服着て 朝5時に起きて あたしよりあなたのことばかり 好きなおかずもあげるの ひとりに戻れたなら ライブ行って 洋服買って 夜中に遊ぶわ それ全部やめて 今あたしおかあさん おかあさんになれてよかった あなたにあえたから(あたし おかあさんだから ~繰り返し~)」とある。

作詞者で絵本作家ののびみさんは「この曲はお母さんの意見を聞いて作った、お母さんお疲れ様の曲です」と言っている。これに対してインターネット上では「私の日常だわ」「わかってくれてありがとう」との肯定派。「ワンオペ(一人で回す)育児奨励歌ですか」「自己犠牲と母性礼賛の呪いですね」「独身者はじぶんのことしか考えてないと思いますか」との否定派。「私お母さんだけやりたいことやります 悪いの?」「バリバリ仕事してますよ」と前向き派。「あなた お父さんなんだからね」とワンオペ育児脱出模索派等、様々な本音が集まっている。

私が思うに、この詩の「おかあさん」は「とりあえず自分の事は置いておき、子どもを育てていこう。」と気持ちの整理をつけた人だと考える。つまり「他者性(他者には他者の価値観があり、都合もある。自分の思い通りには動いてくれない事)」を引き受けて、今の状況を受容している。

しかし、その境地に至るまでには様々な葛藤があっただろう。

夫がブラック企業に勤めていて、帰りが午前様なのかも。はたまた今時、亭主関白?

のびみさんは「頑張っているお母さん達を応援したい。」と言うが、そこには頑張る原動力を感動的なこと(母性や自己犠牲)に結びつけようとする意図が感じられ、今をリアルに生きている人達には、胡散臭く感じられたのかもしれない。

人には現実的で感情的で打算的なドロドロした部分もたくさんある。子育てを母性や自己犠牲等の「きれいごと」でくられると息苦しい。「あたし おかあさんだから」というフレーズで本音の自分をおさえつけるのも息苦しい。

本音の自分は消えることなく心のどこかに残っていて、無理矢理押さえつけると爆発する厄介なものである。

インターネットはお手軽だけど「きれいごと」では済まない「本音の自分」が出せる人が近くにいると、ちょっとシアワセかもしれない。

## DV相談・女性のための相談窓口のご案内

### DV等家庭相談(人権・国際課)

配偶者からの暴力にお悩みの方へ、専門の女性相談員による相談を行っています。

相談日:火曜日から金曜日  
(祝日、休日、年末年始を除く)

相談時間:午前9時30分から午後5時15分  
(受付は午後4時まで)

予約・問合せ先: ☎0436-23-9787(専用回線)

### 女性のための相談(人権・国際課)

家族や人間関係、心身のことなど、女性が抱えているあらゆる問題に対して専門の女性相談員による相談を行っています。

相談日:第1、第2、第3、第4月曜日  
(祝日、休日を除く)

相談時間:午前10時から午後4時(要予約)

予約・問合せ先: ☎0436-23-9826  
(人権・国際課直通)